

町会レポートNo.38 南中野区民活動センター  
「みんないきいき！南中野地区まつり」

お久しぶりです。町会ひよこです。今年度は、地域支えあい推進部の新規採用職員10名が「町会ひよこ」として町会・自治会の取り組みを紹介していきます。今回は、“野菜”と“フルーツ”がお送りします。

10月3日(土曜日)、南中野区民活動センターで開催された南中野地区まつり取材しました。この催しは今年で45回目を迎える恒例行事。南中野地区の各町会・自治会の方々が企画・運営に携わっています。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小しての開催。会場入口で検温、消毒、三密対策などが徹底されていました。

「新型コロナウイルス感染症を気をつけながらも、みなさんに和気あいあいと楽しんで欲しい」という渡部実行委員長の挨拶で開会しました。多くの人で賑わう会場に入ると、まず目を引いたのは、壁一面に貼り出されたカラフルな絵画たち。地域の保育園児や小中学生が一生懸命に描いたものです。

日頃、趣味の活動をしている地域団体のみなさんの展示作品も魅力的でした。会場にいた方へ話を聞いたところ「子どもの作品を見ることができて良かった」、「開催できて良かった」と喜びが溢れていました。“フルーツ”も趣味を生かした何かを作りたいと思いました。

“野菜”は、「秋の健康測定会」のコーナーで血管年齢測定を体験。結果はなんと実際の年齢より2歳も老けていました！健康に気をつけようと改めて思いました。

翌日の日曜日には、「第22回みんなで楽しむコンサート」が開催され、観客を入れ替えながら、2日間で延べ1,000人近くの方が参加されたそうです。（演奏者と客席との間の距離を広げ開催されていました。）

今回の地区まつりを通じて、実行委員長が語る南中野の地域柄である「積極性」「和気あいあい」「つながり」を肌で感じることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が中止となっていました。たくさんの方々の笑顔から元気をもらい、改めて仕事を頑張ろうと思いました。

中野区町会連合会のホームページも併せてご覧ください。

<http://nakano-chokai.jp>

以上、町会ひよこでした。



+2